

学生のページ

〈研修先〉

独立行政法人国立病院機構 **香川小児病院**

院長 **中川義信 先生**

医師 **中川真希 先生** (平成16年卒業)

〒765-0004 香川県善通寺市善通寺町2603

TEL 0877-62-0885 FAX 0877-62-5384

研修期間：平成24年7月19日、20日

さぎや りえ
鷺谷 理恵 (医学部第3学年)

香川小児病院は小児総合医療施設として30の診療科があり、四国中国地方のみならず全国から患者さんが集まります。小児専門病院ですが産婦人科を有しており、出生直後から新生児に医療的介入を行うことができます。今回私は、新生児内科と産婦人科を見学させていただきました。大学ではどちらの科も未履修でしたが、先生方が丁寧に教えてくださり、非常に密度の濃い研修となりました。

1日目は新生児内科を見学しました。岡崎 薫先生に新生児の診察の仕方について教えていただきながら、モロー反射の確認、聴診などを少しさせていただきました。生まれたばかりの赤ちゃんは本当にかわいらしく、自然と温かい気持ちになるのと同時に、責任の重みと診察の難しさを実感しました。NICUの見学では、1500g未満の低出生体重児、黄疸などに対する治療法や頭部エコーの仕方など沢山のことを教えていただき、大変勉強になりました。正直言って研修前には新生児内科がどのような科なのかよく知らなかったのですが、この研修を通して新生児医療を深く学んでみたいと思いました。夜には、本学の卒業生でいらっしゃる中川真希先生に麻酔科のお話を伺うことができ、非常に興味深く感じました。今回麻酔科は見学できませんでしたが、また改めて小児麻酔を見学してみたいと思いました。

2日目は産婦人科を見学しました。七篠あつ子先生にモニターの見方や破水、帝王切開について基礎から教えていただきました。七篠先生は、緊急帝王切開になる患者さんやご家族の方に不安を与えぬよう工夫しながら手術の説明をするなど、患者さんの気持ちを考えてお話されているのが印象的でした。村上雅博先生は、「あとちょっとだからね」と、妊婦さんに穏やかに声を掛けていらっしゃいました。妊婦さんも落ち着いた様子で、医師の言葉の重みを目の当たりにしま



麻酔科の先生方と。左から眞鍋佐和先生、筆者、中川真希先生、山田暁大先生

した。今回、帝王切開2件と普通分娩を見学させていただきましたが、新しい命の誕生に立ち会い、とても感動しました。また、NICUと産婦人科の合同カンファで双方の連携を見られたのも、大変興味深かったです。

2日間、新鮮な体験を数多くさせていただき、医学に対する興味が益々湧きました。また今回、高度な知識・技術や、優しく温かい心を持つ多数の先生方に出会えました。この研修で学んだ多くのことを生かし、より一層勉学に励み、香川小児病院で出会った先生方のような良医を目指したいと強く思います。

最後になりましたが、お世話になった先生方を始めスタッフの皆様、患者様やご家族の皆様方に、心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。